

1920年代の世界とアメリカの繁栄

NHKスペシャル「映像の世紀3 それはマンハッタンからはじまった」をもとに 1920年代前半の世界(概要)

①1919 1月 [1] 講和会議の開催 27ヶ国参加 ドイツ・ソ連は参加を認めない
英・仏のドイツに対する [2]、 [3] への強い警戒感
↓
1919, 6, 28 [4] 条約などを押し付ける

この結果、

ドイツは多くの領土を割譲、全ての植民地を放棄する、ライン川西岸の非武装化
軍備の制限 海軍の軍備制限、潜水艦・航空機の所持禁止など
「天文学的数字」に及ぶ巨額の賠償金支払い

↓

このようなやりかたは、ドイツの人々にとって5 _____
をまねいた。

また、戦争における経済の荒廃と巨額の [6] 支払いによってドイツは経済混乱に
おちいり、1923年には破滅的な [7] が発生した。

↓

こうしたことが、のちの [8] の背景となっていく

②ヴェルサイユ体制

1) オーストリア=ハンガリー帝国の解体→オーストリアはヨーロッパの小国に

2) 新興独立国の成立=「ソ連」への防波堤の役割を期待

3) ドイツの植民地やかつてのトルコ領→列強が分割

4) [9] は「世界の債権国」として世界に君臨、資本主義諸国の中心となった。

5) 大戦の戦場から遠く離れた [10] も大戦中に勢力圏・経済力を拡大した。

米大統領ウィルソンの提唱で [11] が設立され、集团的平和維持をめざしたが、
[12] の不参加や、[13] ・ [14] の参加を認めなかった
ため不十分なものであった。

③一方、ソ連は第一次大戦や [15]、それにつづく [16] _____
とそれに対する政策面での問題から国土が荒廃し、1921年には干害によって300万人に上る多数の餓
死者を出した。

④1920年代前半は、[17] _____を中心に混乱が続いたが、20年代後半になると、世界的に [18] _____
の動きが進み、[19] _____を中心に世界は繁栄と平和の時代を迎えつ
つあると思われていた。

【映像の世紀3 それはマンハッタンからはじまった】

1. 大戦後の世界

①ドイツでは戦後の混乱による工業生産の遅れにより失業者が増加し、破滅的な [20] _____
[21] が発生、物価は戦前の [21] _____ 倍に跳ね上がり、マルクは紙切れ同様となった。

②1921年革命後の [22] _____ では干ばつによる被害で [23] _____ 人も餓死者が出た。

_____ さっそく、援助を申し出た [24] _____ は兵士の釈放が条件であった。

③1921年 日本 の皇太子 (のちの [25] _____) がヨーロッパ5カ国の訪問を行った

2. 新しい生活様式の誕生

①戦場から帰還した若者たちは、26 _____ を持ち込んできた。

_____ その象徴ともいえるのはジャズの音楽にのって踊る [27] _____ であった。

_____ 生活の変化の背景となったのは1920年開始された [28] _____ 放送の開始であった

_____ とくに流行に敏感であったのは女性であり、[29] _____ 店などは多くの収入を上げた。

②その背景には、地下鉄工事などの厳しい作業おどろくべき低賃金で働く [30] _____] や [31] _____] たちの存在があった。

_____ マンハッタン南部の [32] _____] では祖国の知り合いを頼ってやってくる多くの移
民があふれていた。

3. [33] _____ 主義と [34] _____] の時代(1)

①アメリカでは1920年代はじめ、大量の [35] _____] が発生していた。

_____ そして、労働者たちは賃上げなどよりも36 _____] をもともとめていた

_____ こうした動きに対し、反共主義者である司法長官パーマーは厳しい共産主義者弾圧政策をとった。

_____ 1920年元旦、[37] _____] 4000人を逮捕したが、銃をもつのはわずか3人であった

_____ また [38] _____] をソ連に一斉追放するといったこともおこなった。